

補助事業番号 2019M-057
補助事業名 2019年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 宮城県

1 補助事業の概要

伝導イミュニティ試験システムの設備拡充

2 予想される事業実施効果

最新の国際規格に準拠した電気電子機器製品の伝導ノイズに対する耐性評価が可能となり、地域企業に対するノイズ評価支援に大きく貢献できる。

3 本事業により導入した設備

①伝導イミュニティ試験システム

(URL) https://www.mit.pref.miyagi.jp/kiki/ringring/R_1_CNDEMS.html

最新の国際規格に準拠した伝導イミュニティ試験システムを導入した。本装置を活用し、最新の国際規格に準拠した電気電子機器製品の伝導ノイズに対する耐性評価を行うことにより、地域企業に対するノイズ評価支援に大きく貢献する。

設置場所：宮城県産業技術総合センター BE-01

②本事業に係る印刷物等

宮城県産業技術総合センター機器パンフレット

(URL) https://www.mit.pref.miyagi.jp/kiki/8_Opt_and_Elecs/PDFs_Kiki_Opt_Elecs/8_B_dendouEMC.pdf

光・電子・電熱 伝導EMC測定(雑音端子電圧測定)、伝導イミュニティ試験。

伝導EMC試験システム

機種名
EMILシープ(ESCI) Rohde&Schwarz
信号発生器(SMC100A) Rohde&Schwarz
エミッションソフト(EPS-CE) 東洋テクニカ
イミュニティソフト(TEPTO-CE2) ISF 等
2006,2019年度購入

特徴

- 雑音端子電圧測定(CISPR32, VCCI等)
- 伝導性イミュニティ試験(IEC61000-4-6)

被測定物が発している電磁ノイズの周波数とその強度の測定、及びノイズ低減対策に使用する。又、無線周波電磁界により誘起された伝導妨害に対する試験が可能です。

【主な仕様】

- 雑音端子電圧測定(CISPR32)
周波数範囲：(9k)150kHz~30MHz
LISN(AMN)：単相、三相対応
- 伝導性イミュニティ試験(IEC61000-4-6)
周波数範囲：150kHz~80MHz
印加電圧：10Vまで
CDN：お問い合わせください

伝導エミッション測定ソフトウェア画面

料金等

研究者による実証 3,800円/時

施設開放：2,000円/時
操作法説明：3,900円(1時間)
※その他、基礎～応用まで別途相談承ります。

シールドルーム(300円/時)内でご利用いただきます。
事前に使用方法の研修、利用時間、試験条件の確認。
供試体の運転条件などを技術相談にて確認の上、ご利用いただけます。

伝導EMC試験システムを構成する伝導EMC測定装置は、平成18年度に継続の補助金(公設工業試験研究所の設備拡充補助事業)により購入しました。

2020.04 Ver.2.0

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 宮城県産業技術総合センター

(ミヤギケンサンギョウギジュツソウゴウセンター)

住 所 : 〒981-3206

宮城県仙台市泉区明通二丁目2番地

代 表 者 : 所長 大崎 博之 (オオサキ ヒロユキ)

担当部署 : 機械電子情報技術部 (キカイデンシジョウホウギジュツブ)

担当者名 : 研究員 坂下 雅幸 (サカシタ マサユキ)

電話番号 : 022-377-8700

F A X : 022-377-8712

E-mail : sakashita-ma975@pref.miyagi.lg.jp

U R L : <https://www.mit.pref.miyagi.jp/>